

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	Vessel sealing system (LigaSure TM)を使用した Mesenteric approachによる膵頭十二指腸切除
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	北見智恵
	2017年3月から2020年12月までに膵頭部癌に対し膵頭十二指腸切除を施行した54例
③ 概要	近年さまざまなエネルギーデバイスが発売されており、手術時間の短縮、出血量の減少に寄与している。今回、膵癌根治手術におけるエネルギーデバイス使用について検討する。当科では膵頭部癌に対する膵頭十二指腸切除術(PD)はVessel sealing system (LigaSureTM)を用い、Mesenteric approachで行っている。SMA周囲神経叢は基本的には温存するが、BR-A症例では症例に応じて全周、または半周切除している。LigaSureTMには数種類のハンドピースが発売されているが、Meryland型はSmall Jawに比し先端がシャープで、組織間への挿入がより容易であり、視野が深い症例でも先端の視認性がよいため、Meryland型を使用している。われわれの手術手技についてビデオを供覧するとともに、当科における成績を報告する。【手術手技】デバイスの基本的な使用のコツ: LigaSureTMの使用のコツは先端の細いケーリー鉗子で組織を剥離してからLigaSureTMで切離すること、LigaSureTMの先端が出ていることを確認してから切離することである。先端を確認せずに分厚い組織のまま切離していくと温存すべき血管、臓器の損傷を来す危険があり注意が必要である。ケーリー鉗子での剥離でLigaSureTMのアゴを挿入するスペースを十分得られない場合は無理に開かずに電気メスで切離する。PDでの使いわけ: Mesenteric approachでまずTreitz靱帯より十二指腸下行脚下縁に向かい腸間膜を横切開、上腸間膜動脈(SMA)、上腸間膜静脈(SMV)以外の組織をSMA根部に向かって切除する。腸間膜を切開する際、残す側は結紮、切除側はLigaSureTMで切離し、リンパ漏を防止する。SMA周囲神経叢はLigaSureTMで切離可能である。中結腸動脈は切離し横行結腸間膜根部をくりぬくように切除し郭清した組織を頭側へ誘導する。脾を離断、肝十二指腸間膜郭清を行い、SMA根部から腹腔動脈周囲神経叢へとつなげるようにLigaSureTMで切離する。より繊細な操作を要する門脈周囲、肝動脈周囲はメッツェンバウム剪刀や電気メスを使用している。【結果】LigaSureTMの使用を開始した2017年3月から2020年12月までに膵頭部癌に対し54例のPDを施行した。手術時間の中央値336分(212-508)、出血量400g(47-1155)、SMA周囲神経叢全周切除7.4%(n=4)、半周切除12.9%(n=7)、温存79.6%(n=43)であった。術後在院日数20日、術後合併症はClavian-Lindo分類Grade2の乳び腹水2例、胆管炎、肝膿瘍1例に認めた。病理組織学的検査所見はT2 9.3%(n=5)、T3 90.7%(n=49)、StageIB 74%(n=4)、IIA 27.7%(n=15)、IIB % 64.8(n=35)、R0切除率は96.3%(n=52)であった。【結語】適切にデバイスを使用することで、手術時間の短縮、出血量の減少がはかれると考えられる。
④ 申請番号	第499号

⑤研究の目的・意義	適切にデバイスを使用することで，手術時間の短縮，出血量の減少がはかれると考えられる．
⑥研究期間	2010 年 1 月から 2020 年 3 月まで
⑦情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	消化器外科学会学術集会ホームページ
⑧利用または提供する 情報の項目	動画 病理 臨床記録
⑨利用の範囲	長岡中央総合病院外科部長 北見智恵
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院外科部長 北見智恵
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 外科 北見智恵 〒940-8653 新潟県長岡市川崎町 2041 番地 TEL 0258-35-3700 FAX 0258-33-9596